

第3学年 国語科 シラバス

◎中学校の国語科では…

国語を適切に表現し、正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにし、国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を育てる

ことを目標としています。

◎中学3年生の国語科では……

A 「知識及び技能」

社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。

B 「思考力、判断力、表現力等」

論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

C 「学びに向かう力、人間性等」

言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

☆本校ではこれらの目標を次の「学習計画」「評価の観点・評価の方法」「授業の特色」を基に達成を目指します。

原山中の国語科はこんな授業です！

様々な学習プリントを活用して、わかりやすい授業を目指します。

疑問、わからない点について気軽に質問できます。



自ら設定した課題について調べたり、作品を創作したり、様々な活動を取り入れて、国語力を高めます。

国文法については、工夫して覚えたり、練習問題を繰り返したりします。

古典の学習の際、資料を見たり暗唱をしたりして、興味をもてるよう工夫します。

漢字や語句の基本的な知識の定着を目指すとともに美しく整った字を書く練習します。

評価の観点

国語科では次の3つの観点で評価します。

知識・技能

社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしている。

思考・判断・表現

「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。

主体的に学習に取り組む態度

言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値を認識しようとしているとともに、読書を通して自己を向上させ、言葉を適切に使おうとしている。

学 習 計 画			
期	月	学習内容	学習のねらい
1 学 期	4	・春に ・立ってくる春 ・なぜ物語が必要なのか	・詩に描かれた気持ちと比較しながら、自分の気持ちを見つめる。 ・表現に注目し、筆者の思いを味わう。 ・随筆を読み、批評したり、考えたことなどを伝え合ったりする。
		・メディア・リテラシーはなぜ必要か？ ・AIは哲学できるか	・筆者の考えと具体例との関係を読み取り、全体の構成をとらえる ・文と文との関係を考えながら読む。
	5	・敬語	・社会生活における敬語の役割について考える。 ・場面に応じた敬語の使い分け方を知る。
		・私	・場面や登場人物の設定の仕方をとらえ、内容理解を深める。
		・新聞が伝える情報を考える	・新聞にある情報の種類や構成について理解し、同じことを伝える二つの社説の意見の述べられ方について比較する。
	6	・硬筆	・硬筆を行書で、縦書きの罫紙に漢字と仮名を調和して書く。
		・付属語	・助詞や助動詞について理解し、正しく使えるようになる。
		・話を聞いて自分の表現に生かす	・話を聞き、話の内容や話し方の良い点に学び、自分のものの見方や考え方を深める。
	7	・慣用語・ことわざ	・日常生活言語をいつもと違った視点から捉え直す。
		・薔薇のボタン	・『薔薇のボタン』を読んで、文章の構成や展開、表現の仕方の特徴について自分の意見をまとめる。
2 学 期	9	・俳句の味わい	・表現上の工夫に注意して、作者の思いを捉える。
		・和語、漢語、外来語	・和語、漢語、外来語について理解し、使い分ける。
		・旅への思い	・人生を「旅」ととらえる芭蕉の生き方と、俳句との関係を理解する。 ・冒頭部分を暗唱する。
	10	・和歌の調べ	・作者たちの自然や人間に対する感じ方について考える。
		・風景と心情 ー漢詩を味わうー	・漢詩の形式を知り、その言葉の響きやリズムなどに注意して暗唱する。
	11	・文法の復習	・今までに学習した国文法を振り返る。
		・文体練習	・文章全体を整えて書く。 ・原稿用紙の正しい使い方を確認し、課題作文の書き方に慣れる。
		・async同期しないこと ・問いかける言葉	・『async』と『問いかける言葉』について 筆者の主張とその根拠（主張のよりどころ）に着目しながら読む。 ・それぞれの文章における筆者の主張の仕方を比べながら 表現の効果や読み手に与える印象について話し合う。
	12	・自己PR文を読み合う	・中学校生活を振り返り、自己PR文を書く。 ・文章を読み合い、自分の表現に生かす。
		・ニュースで情報を編集する	・ニュース番組が演出されているということを踏まえたうえで、効果的なナレーションの方法について考える。
・文学史の学習		・国内外の著名な文学作品とその背景を知る。	
3 学 期	1	・書き初め	・毛筆行書の美しい書き方を学ぶ。
		・故郷	・人物の描写に注意しながら読み、主人公にとっての「故郷」を考える。
2	・「対話力」とは何か ・持続可能な未来を創るために	・『「対話力」とは何か』を参考にし、グループでお互いの意見を出し合い、共通点や相違点を整理し、グループで意見をまとめる。 ・「未来に何を残したいか」ということについて自分の考えを書く。	

学習計画は、実態に応じて変更になることがあります。
必要に応じて便覧・文法・漢字の副教材を使用します。